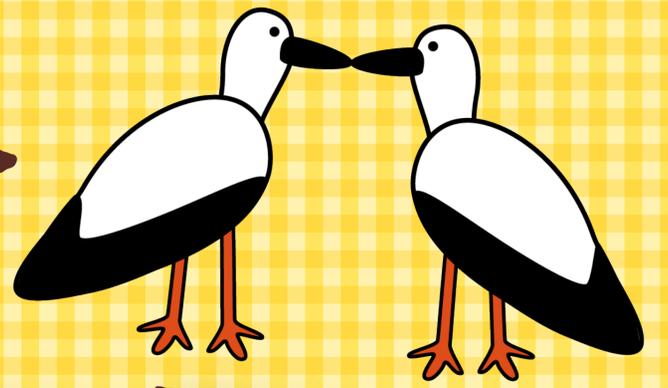


であ ほうらん  
出会いから抱卵へ



①



非公開ケージで暮らす  
「サクラ」に興味津々なヤマト。  
もしかして好きなのか？  
という噂が出たほど。

2023年4月27日撮影

ヤマトは放鳥後も、こうのとりの里でよく目撃されていました。  
飼育員からも地元の方からも、「またヤマトが帰ってきたね！」  
と言われるほど、地元を愛する“野田っ子”のヤマト。

②



ヤマトは野外のコウノトリと一緒に飛来することも多く、メス  
と仲良さそうな姿も目撃されていました。  
しかし、恋はなかなか発展せず…。  
繁殖期には1羽で巣作りを行い、誰かとペアになることを長い  
年月待ち望んでいました。

③



ヤマト放鳥から7年経った2024年。  
ついに、その時がやってきました！  
2022年に渡良瀬遊水地で野外繁殖した「ひなた」がこうのと  
りの里がある江川地区を訪れ、ヤマトと出会いました。  
そして数日のうちに、2羽は急速に仲を深めていきました。

④



めでたくペアになった2羽は、寄り添ってダンスをすることで  
愛情を確かめ合います。  
そして、協力して巣作り！枝や木の皮などをたくさん集めます★

⑤



2羽が巣作りに選んだのは、こうのとりの里のすぐ横にある  
電柱上の巣台です。  
江川地区には、巣作りしやすいように人工巣塔が2基ありますが、  
気に入ったのはまさかの場所でした。

⑥



産卵したのは、3月18日と推定されています。  
巣に必ず1羽が残り、抱卵（卵を温めること）や、くちばしで  
転卵（卵を転がすこと）する仕草が見られるなど、産卵後に見  
られる行動が確認されました。（卵を目視できないので推定）